

# 哲風会通信

2012年8月 vol. 8

8月に入り暑さも厳しくなってきましたね。お盆も近づいて、いよいよ夏らしくなってきました。お盆に家族や親戚の方々とお墓参りに行って蝉の鳴き声などを聴くと、夏が来たのだと改めて感じます。これから花火など夏ならではの行事がたくさんあるので、暑さに負けず思いきり楽しみたいですね。



## 口腔内写真

歯科医院を受診して、何枚もお口の中の写真や、場合によってはお顔や姿勢の写真まで撮影された経験のある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

「むし歯の治療に行ったのに、なぜ余計なことをするの？」

「さっさと治療してほしい。」などの患者さんの意見はもつともだと思われれます。

先月のミーティングでは口腔内写真の撮り方と、必要性について学んできました。

### ●撮り方

口唇を引っ張る際に口角鉤という器具を使うのですが、まずは水をかけて口唇と口角鉤との抵抗を少なくします。この時少し膨らみをもたせるように引っ張ると上手く撮ることができます。口角鉤がしっかりと口唇の間に入っていないと、歯や歯肉などと被ってしまい正確な写真を撮ることができないので、引っ張る角度にも気を付けます。次にミラーの挿入についてです。

口腔内にミラーを入れる時は片側からゆっくりと挿入します。この際、ミラーを挿入する前にお湯につける、または挿入してから撮るまでエアーをかけることで曇らなくなり、はっきり写すことができます。口が小さい方や、あまり大きく開けることができない方には、小さめのミラーを使用して撮影します。



## ●必要性

撮影する大きな目的としては、

- ① 今現在の口腔内状況の説明の為
- ② 治療前後での比較
- ③ 不適合補綴物(つめものが合っていない)などレントゲンに写らないものの把握
- ④ 口腔内の情報の記録

があります。直視しているだけでは気がつかないこともあり写真を見て気がつく場合が少なくありません。レントゲンには写らない歯肉の色や形態などは、いくら文章で保存していても再現することは難しいのです。

口腔内写真の撮影を行うことは、患者さんの健康上の利益につながり、再発予防等の観点からとても役立つのだということを理解していただきたいと思います。

そのためにも私達スタッフは、患者さんに苦痛を与えずに素早く撮影することが必要となってきます。

## 甲子園

8月といえば、甲子園ですね！

暑い中、必死になって頑張っている姿を観るとこちらまで元気をもらいます。高校野球ならではの様々なドラマがあって、感動の連続で胸を打たれます。特に、熱闘甲子園には毎年感動します。今年はどんなプレイが観られるのか今から楽しみです。球児の皆さん、全力で頑張ってください！

## 今月の担当

ちづ歯科クリニックの河村です。

先月7月21日に開催された能代の花火に行って来ました。今年で10周年を迎えたということもあり、会場はたくさんの人で賑わっていました。桟敷席をとることができ、ほぼ真下から観ることができたので迫力満点でした！

今月は大曲の花火もあるので是非参加したいと思います。



医療法人 哲風会  
むさしデンタルオフィス

〒010 - 0912  
秋田市保戸野通町4 - 8  
TEL:018-853-8214  
フリーアクセス:0800-800-8461

医療法人 哲風会  
ちづ歯科クリニック

〒018 - 1605  
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝  
233 - 1  
TEL:018-875-2801

